

[研究会報告]

コロナとココロ～児童精神科の視点から～

柿元 真知

三重県立子ども心身発達医療センター

要 旨

コロナ禍においては突然の休校、その後の長期にわたる自粛生活など、子どもたちの環境変化は計り知れない。変化についていけず不安定になった自閉的特性を持つ子、その生活様式がむしろ推奨されるようになった不登校の子、学校というセーフティーネットが奪われ、家庭環境の脆弱さの中でもがく子など、様々な心理社会的影響が見られた。また、長期の自宅生活を余儀なくされ、インターネットの存在がますます大きくなってきている。児童精神科の臨床を通じて見られたこれらの問題を提示しつつ、今後の方向性を皆さんと探っていきたい。